

令和 7年 8月 6日

名古屋四日市国際港湾株式会社

鍋田ふ頭コンテナターミナル（名古屋港）における ガントリークレーン新3号機の供用について

弊社では、令和6年度から名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルT1岸壁のガントリークレーン3基の更新工事を進めています。

この度、1基目の3号機を更新し、令和7年8月6日（水）から供用を開始いたしました。

今回、導入したガントリークレーンは、コンテナ17列から18列対応へアウトリーチを延長、20ft コンテナ2個を同時に荷役することのできるツインスプレッド機能、横行速度の約16%向上とともに、本船上のコンテナとスプレッドとの衝突リスクを低減する運転アシストシステム、エプロン上の荷役状況を確認できるカメラを装備し、荷役の生産性及び作業の安全性の向上を図っています。

今後、2号機、1号機につきましても、順次、更新を進めます。令和7年度内に3基すべての更新が完了する予定です。

【新3号機の要目】

- ・アウトリーチ 50.0m（18列対応）
- ・揚程 36.0m（海側レール面上、6段積）
- ・レールスパン 30.5m
- ・定格荷重 コンテナ50t（ツイン荷役）、40.6t（シングル荷役）
- ・スプレッド ツインスプレッド
- ・製造会社 （株）三井E&S



新3号機（T1岸壁設置状況）

【お問い合わせ先】

名古屋四日市国際港湾株式会社
技術部技術課

担当：野口、早川、朝田

電話：052-307-7624